芸術と科学の杜へようこそ!

アートな発見や歴史ある場所もあって見どころいっぱい。
歩き疲れたらちょっとひと休みできるお店もあるよ。
さぁ、このマップを手にして杜の探索へレッツゴー!!

名古屋の観光名所へのアクセス

名古屋市科学館 名古屋市美術館
「伏見駅」下車
(「伏見駅」5番出口から徒歩5分、美術館は徒歩8分)

名古屋城
「栄駅」▸名城線・右回り▸「名古屋城駅」下車
(「名古屋城駅」7番出口から徒歩5分)

名古屋港
「矢場町駅」▸名城線・名古屋港行▸「名古屋港駅」下車
(「名古屋港駅」3番出口から徒歩5分)

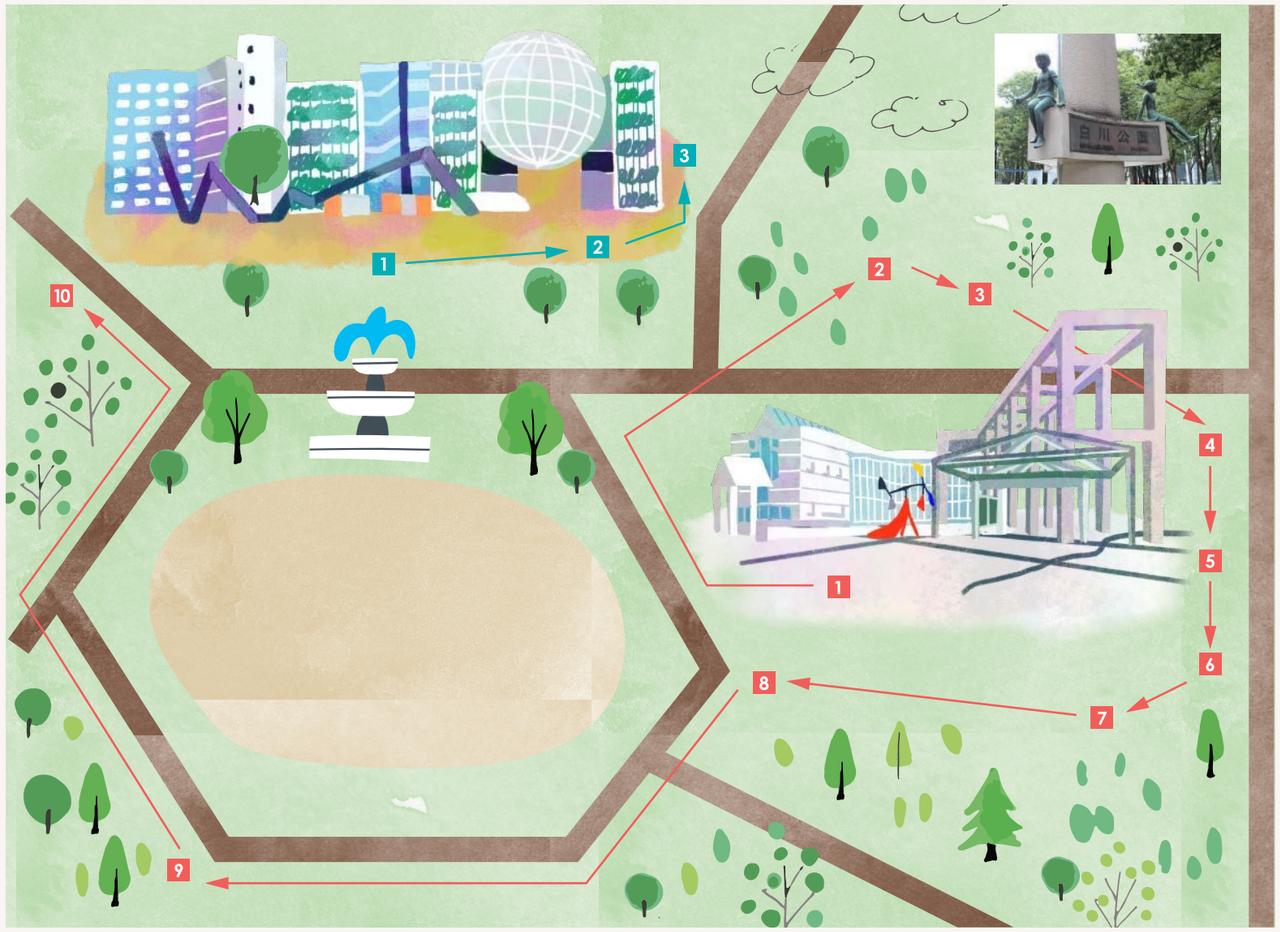
名古屋駅
「伏見駅」▸東山線・高畑行▸「名古屋駅」下車

セントレア
「矢場町駅」▸名城線・左回り▸「金山駅」▸
名鉄・名古屋本線中部国際空港行▸
「中部国際空港駅」下車

地下鉄路線図 Subway Network



主　催　芸術と科学の杜連携推進会議
地　元　広小路商店街、桑名通商店街、末広会
改訂日　2024年4月



科学 Science



A 名古屋市科学館

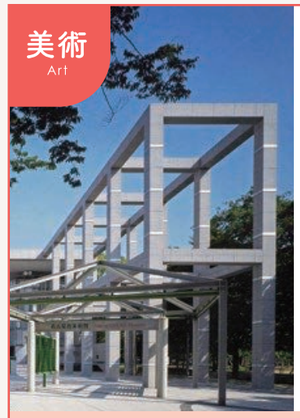
052-201-4486
営 9:30-17:00(入館は16:30まで)
休 月曜日(祝日の場合は翌平日)
第3金曜日(祝日の場合は第4金曜日)
年末年始
¥【展示室とプラネタリウム】
大人800円、高校・大学生500円、中学生以下無料
【展示室のみ】
大人400円、高校・大学生200円、中学生以下無料
HP http://www.ncsm.city.nagoya.jp/

不思議と驚きの連続!! 見たことのない科学の世界がここにあります。

ミュージアムカフェ
052-212-0039
営 9:30-17:00
休 名古屋市科学館休館日

ミュージアムショップ スキエンティア
052-212-0012
営 9:30-17:00
休 名古屋市科学館休館日

美術 Art



B 名古屋市美術館

052-212-0001
営 9:30-17:00
祝日を除く金曜日は20:00まで
(入場は閉館時間の30分前まで)
休 月曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始、展示替期間
¥【常設展】
大人300円、高校・大学生200円、中学生以下は無料
(特別展はその都度定めます)
HP https://art-museum.city.nagoya.jp/

黒川紀章設計の落ち着いた空間でお気に入りの美術品を見つけてください。

Sugiura Coffee
080-1571-5648
営 9:30-17:00
(祝日を除く金曜日は20:00まで)
休 名古屋市美術館休館日

名古屋市美術館ミュージアムショップ
052-201-2885
営 9:30-17:00
(祝日を除く金曜日は20:00まで)
休 名古屋市美術館休館日

白川公園で芸術を感じる!コース



1 「ファブニール・ドラゴンII」
アレクサンダー・コールダー(1969年)
アレクサンダー・コールダーは、アメリカ合衆国の彫刻家・現代美術家。動く彫刻「モビール」の発明と制作で知られ、抽象彫刻のほか、絵画や玩具など様々な分野で創作活動を展開しました。



2 「椰子(パルマス)」
セバスティアン(1993年)
この作品は半円形のアーチで形作られた椰子の木に寄りかかる二つの腕と手を表したものです。両手の手のひらを模った形は、古代メキシコの文化において想像力や王の尊厳、魔術的な力を表現するものでした。



3 「メキシコの翼」ホルヘ・マリン(2010年)
この作品は、全長390cmの翼のブロンズ像で、身体と「願い、勇気、努力」の精神の羽ばたきの可能性を表現しています。メキシコを代表する現代アート作品で、シンガポール、ロサンゼルス、ベルリン等の都市に寄贈されています。



4 「智者の頭」(1989-90年)
「黒い立像」(1988年)
マグダレーナ・アバカノヴィッチ
アバカノヴィッチはポーランドの彫刻家です。彼女の作品には、厳しい生存条件の中を生きる人間の自由というテーマが流れています。



5 「接近V」アントニー・ゴームリー(1999年)
アントニー・ゴームリーは現代のイギリスを代表する彫刻家です。身長193cmの自らの身体を型取りして作った人体像で知られています。作品が置かれる空間、時間、自然との関係性を重視し、高い評価を得ています。



6 「風のまつり」新宮 晋(1978年)
新宮晋は風や水の力によって動く立体作品を制作し世界的に活躍する作家です。風や天候によって作品の表情が変わるところに魅力があります。



7 「魂」イサム・ノグチ(1982年)
幼少期を日本で過ごし、アメリカ、フランスで彫刻を学んだノグチは、従来の彫刻の域をはるかに広げ、その豊かな芸術性と表現力によって、20世紀を代表する彫刻家のひとりとして知られています。



8 「点音in白川公園:名古屋市美術館バート」
鈴木 昭男(2009年)
鈴木昭男は、日本を代表するサウンド・アーティスト。1996年に開始した街のエコーポイントを探る「点音(おとだて)」プロジェクトは、これまでに30都市以上で開催されています。



9 「名古屋のための5つの人体」
ホルスト・アンテス(1997年)
ドイツの作家ホルスト・アンテスが白川公園を視察して制作し、1997年に設置されました。木々の間に見え隠れする人体像は不思議な風貌をしており私たちの想像力を喚起します。



10 「ボールをつかむ爪の上の野兎」
バリー・フラナガン(1989-90年)
バリー・フラナガンはイギリスの作家です。1980年ころから始められた野兎のシリーズは、彼の代表作です。巨大で生命力にみちたフラナガンの野兎は、どこか人間くささを感じさせます。

もっと科学を知る!コース



1 H-IIBロケット
H-IIBロケットは国産の大型ロケットで、液体燃料を使った2段式のエンジンにより、約16.5tまでのものを上空およそ400kmの国際宇宙ステーションの軌道へ投入することが可能です。この展示ではやや短い約50mになっています。本物のロケットの大きさ、構造を間近で感じていただけます。



2 市電1400型ボギー車
1400型車両は、1937年に開催された汎太平洋平和博覧会に合わせて「博覧会にふさわしい世界一の電車」を合言葉に、名古屋市電気局や日本車両製造㈱の技師が設計し、1936年に製造されました。軽量化を目指すとともに、流線型のデザインを取り入れた画期的な車両でした。
ボギー車とは、ある程度自由に回転する台車に車軸を固定した車両のことです。



3 SM50S型雪上車522号車
自衛隊の78式雪上車をベースに、日本の南極観測のために作られた雪上車です。SM50型雪上車は1976年に登場し、全部で22台が南極に持ち込まれ、大陸上の移動に使われました。長ければ1ヶ月以上かかるため、雪上車の後部では、食事を作ったり寝泊まりできるようになっています。